

User Report

株式会社ボルテックス セイゲン

元祖 遠隔点呼システムは、群馬県から生まれた。

昭和26年に西群運送株式会社として設立。主に国内大手化学メーカー及び、米国に本社を置く大手日用品メーカーの製品を輸送・保管・物流加工そして販売先への出荷業務までワンストップサービスで一貫して行っている。国内輸送、国際物流、危険物保管、流通加工等、群馬県の安中市を本社に県外4拠点を備えて、お客様のニーズに貢献している。

ご利用機器

- ・設置型アルコール検知器ALC-PRO II
- ・ALC-Mobile II
- ・ALC-mini III



導入のきっかけ 開発は従業員を大切にする想いから。

業界に先駆けた取り組みとして行政がIT点呼を認める2年前の平成17年に独自の遠隔点呼システムを開発、その際に、弊社のアルコール検知器ALC-PROを導入。平成24年度にドライバー不足に陥りかねない現状をふまえ、今いるドライバーには、できるだけ長く安全に働いてもらいたいという想いで、独自に高齢者でも使いやすいタッチパネル・アルコール有無と血圧計の経過管理などの機能がある遠隔点呼型IT点呼システムを開発。他にも、元請け業者として、協力会社のドライバーに測定してもらうためALC-mini IIIを、中間点呼時にデータを残すためALC-Mobile IIを導入。



取材ご協力

株式会社ボルテックス セイゲン

監査役 宇佐見 和宏 様
本社運輸部 車両管理G 関口 香織 様



〒379-0133
群馬県安中市原市432

製品導入による 効果・感想

測定者の意識が変わった。

導入時は、マウスウォッシュや残酒でアルコール検知していたが、測定者の意識が変わり、徐々に検知されなくなり、今では検知されなくなった。安全に対して徹底管理しているIT点呼システムの一助として機能している。



安全への取組み

ルールだけではたどり着けない 安全品質を目指している。

基本理念に「安全第一主義 観る・聴く・試す」と掲げている。会社の取り巻く状況がいかに変化しても安全第一で、顧客からの信頼を得るために、あらゆる先取りした対策を講じている。

例えば、平成12年にデジタルタコメーター、平成19年にはドライブレコーダーを導入。日常業務の安全管理レベルの向上にも生かしている。昨今社会問題になっているドライバーの疾病による事故を防止する手段の1つの健康管理のため、高齢化が進むほど重要になるとの想いから、平成25～26年度に遠隔健康管理システムを開発。産業医と連携し、検診で再検査が必要な社員と個別に健康指導を行なっている。導入後は、散見された再検査の通知があったが、放置する社員はいなくなり、自身の健康に前向きに向かい合うようになった。

他にも、平成7年より開始の社員自らが、主体的に問題解決していく力を身につける目的で、「KYT（危険予知トレーニング）活動」、警察官OBを専任指導官として、「ドライバーへの教育指導」、環境活動の継続を図れるとして「グリーン経営認証」取得し活動など、日々変化する物流現場の中で、基本理念の安全第一主義に基づく「高い意識を備えた人づくり」を基盤に置き、会社全体の無事故無災害の実現を目指し、ルールだけではたどり着けない安全品質を目指している。

取材 後記

取材時に本社物流センターを上から見渡せる場所に紹介して頂いた。隅々まで見渡せることができないほどの広さであった。拠点の規模は、年々拡大しているという。これは、基本理念の「安全第一主義」に基づいて、あらゆる徹底的な管理をされていることにより、お客様から絶対的な「信頼」が拡大に結び付いている、また「教育」として社員の意識を高めているものだと考えた。